

20年度 市川市 PTA 連絡協議会

会議名	第6回役員会議事録		
作成者	(書記)	開催場所	市川市役所 第一委員会室
開催日	2009年2月28日(土)	開催時間	18:30~22:00
出席者	会長(平田小)・副会長(富貴島小)・副会長(国分小)・副会長(稲荷木小)・副会長(新浜小)・事務局長(南行徳小)・事務局次長(大野小)・書記(真間小)・書記(中山小)・会計(国府台小)・会計(宮田小)・監事(南新浜小)・理事(市川小)・理事(第3中)・理事(第4中)・理事(大柏小)・理事(第7中)・理事(鬼高小)・理事(北方小)・理事(二俣小)・理事(二俣小)・理事(福栄中)・理事(宮田小)・【市:主幹・副主幹・主査】		

1. 会長挨拶

お忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。

先日私も体調を崩してしまいました、皆さんも体調には、十分注意してください。

楽天の野村監督が“技術だけでなく人間性を高めてこそ一流である”とおっしゃっておりました。八中ブロックCS委員会では挨拶ロード設定していますが、この様な事からも子供たちの人間性を高めてゆくことを考えてはと思います。

2. 各部会からの報告

(1) 総務部会

21/2/26 部会を開催しました。

県校長会や教頭会などの関係から21年5月20日に市川P連総会を開催します。

かけこみ110番マニュアルを追加発注しました。

(2) 広報部会

千葉県PTA広報誌コンクール応募作品募集について文書発送しました。

応募基準の事前審査、事前選考4月4日(三役会、広報部会)があります。

P連だより第3号は、掲載記事が少ないためHPのみの掲載とし紙面での発行はしないことになりました。

(3) スポーツ部会

明日、市川市PTA春季野球大会開会式となります。本大会から春季は野球連合主催でP連は後援事業となりました。

(4) 研修部会

第3回市川市PTAオリエンテーションの報告

日時 21.2.13 10:30~12:00

場所 市川市生涯学習センター グリーンスタジオ

演題 「面白い活動は、人を街を、元気にする！

～市民芸術文化活動による、子どもと大人の成長～

講師 吉原 廣 氏

参加者 150名

第2回市川市PTAオリエンテーションの内容がHPにUPされました。

(5) 三役会

21/2/9 19:00~ 三役会開催しました。

21/2/28 17:30~ 本日この役員会前に三役会開催しました。

3. 議題

(1) 総会・懇親会について

- ・役割分担別紙のように決定（ ）は、出欠状況により決定

P 5～P 8に流れが書いてあります。18：00～懇親会が始まりますので例年より 30 分時間を早めています。

(2) 広報誌コンクール等について

- ・事前審査 先生（元八幡小校長）にお願いし6校分を県に送ります。
- ・平成 21 年度会報づくり講習会の日程及び講師

日時：5/28（木）か5/29（金） 講師：先生（塩焼小）

要望により開催月を6月→5月に今年度から早めました。運営は、本年度の役員にお願いしたい。

(3) 来年度事業案について

- ・別紙P10 参照
- ・市川市PTA春季野球大会は、後援事業となったことから決勝の立会いだけになりました。

(4) 日P研究大会について

- ・協力金お願いについて等 鬼高小PTA会長（以下敬称略）より“2010 年度日本PTA全国研究大会ちば大会の運営に対する開陳”が配布されましたので説明頂きました。

(理事) ・議事録には、賛助金額が30円→40円と変わっているが書き損じ葉書を出した学校と出していない学校との異差について

- ・日P研究大会はお祭り色が強いが第1分科会が市川で行われる中で市川P連活動に影響が出るのでは

- ・総予算1億円が本当に必要か
- ・単P会員に賛助金40円/人を集めることの説明がこれまでの資料等では出来ない
- ・大会開催の価値観を上げる工夫を出したらよいのでは
- ・県Pとよく話し合いをしてください
等の開陳がありました

(三役) 上記の意見に対し事務局長他三役より過去の役員会、三役会の経緯の説明を行いました。

(理事) ・なぜお金を集めなくてはいけないのかを議論していただきたい。

- ・会場費のほかにもいろいろお金を掛けている様だがもっと削減できないか。
- ・県Pから言われたことを市Pが単Pにそのまま流しているのではないか。
- ・おかしいと思ったことはないのか。

(三役) 市P連でも役員会等で議論されてきたところです。

分科会は市川の意向に沿って行ってよいとの事ですのでよりよい方向に持って行きたい。

予算は平成22年2月にならないと確定しない。

支出を削るよう検討をお願いしています。

22年度の賛助金は、決まっていないが、なるべく単Pへの負担がないよう経費節減の努力すると県P会長から説明を受けた。

(会長) 今年市川で行われたWHOでも1億円ぐらい掛かっている様だがその内容も参考にして検討していきたい。

(理事) 日Pの熱い思いはわかるが今までの連絡事項とは違う慎重さで考えてほしい 東京では、P連の加入率が50%程度 6月私の参加したアメリカのPTA大会では加入率は20%程度である 皆さんからお預かりしているお金を簡単には出せない。大会がシンボル重視になっているのでは。

- (副会長) お金の使い方に関し第3者機関として会計監査に参加してはどうか。
- (理事) P T A賛助金は任意のものである。又なぜ千葉だけで集めるのか。
- (理事) 我々が役員、三役を決めて行っている事だから協力してやっていこう、地域の為に使ってもらい、きちんとした決算をしていただければ良いのでは。
- (副会長) 大会開催趣旨及び経過説明が各単Pにわかりづらいとの事から説明不足だった。
- (理事) 全56校のP T A会長、副会長全員に集まって頂いて説明しては。
- (理事) 40円/人を集めてまでも全国大会を行わなくてはいけないものなのか。
- (会長) 大会開催趣旨及び経過説明については、3月中旬には日Pのちば大会のHPがUPする予定ですので、こちらで出来るだけインフォメーションして頂くよう県Pに要請します。
- (副会長) 別紙全国大会ちば大会協力金のお願いの中で具体的な金額を明示したほうがよいのでは。
- (理事) はがき集めのお願いに趣旨をブロック校に説明に行った。
- (副会長) 書面で説明した上で説明会を開催しては。
- (理事) 各ブロックで会議を行いその際に三役で手分けして参加して頂き説明をしてもらったらどうか。
- (事務局長) お願い文の内容を詳しく(金額明示等)したうえで、メール、F A X等で疑問を募り、直接説明希望の学校には三役が説明する場をつくる。
- (書記) 全国研究大会協力金お願い文書の中に一人当たり40円とあるが前に集めて提出したはがきの分はどうなるのか。
- (副会長) 今年度は、40円として集めて来年度分清算対象としては。
- (書記) 提出したハガキ分を協力金から差し引いては。
- (会長) はがきの換金額を県への負担金から差し引いて各家庭への負担額は40円を30円と訂正したい。
- (事務局長) 以上の訂正を踏まえて文書(別紙)を発送します。

(5) 日P研究大会市川大会実行委員の選任について
実行委員会を立ち上げるかの決議を仰ぎ賛成多数で可決

(6) 来年度予算案について
別紙P13にて訂正事項説明後、決議を仰ぎ賛成多数で可決

4. その他

- (1) 平成21年度第1回オリエンテーションについて
- ・ パネルディスカッション形式で行いたい
- 決議を仰ぎ賛成多数で可決

以上